



寿

100歳 おめでとうございます



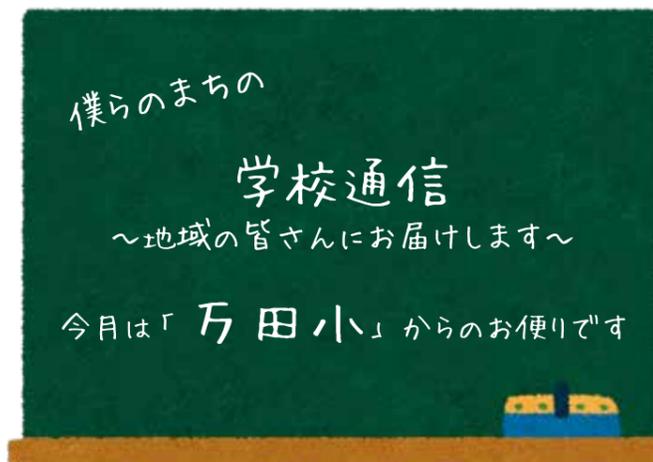
ひらき へいこ
平木ヒデ子さん (古庄原)

12月7日に100歳の誕生日を迎えられました。若い頃は編み物が得意で、現在は花の世話で体を動かし、毎年コスモスや水仙などをきれいに咲かせます。週2回のデイケアと月1回の老人会で、友人と話すのを楽しみにしています。「長生きの秘訣は感謝をすること。皆さんの笑顔が生きがいです」と話していました。



よこやま ひさこ
横山久子さん (孤屋南)

12月8日に100歳の誕生日を迎えられました。以前は多趣味で、日本舞踊や花をたしなみ、週3回カラオケに通っていました。畑で野菜を作ったり、お孫さんの結婚式のために上京したりもしていたそうです。現在は、家中を大好きな花や観葉植物でいっぱいにして楽しんでいる、笑顔が素敵なおばあちゃんです。



郷土を愛し誇りを持つ 「自慢の万田っ子」を育てています

万田小は、全校児童454人で、荒尾玉名地域では4番目に児童数が多い学校です。平成23年に二小と三小が統合され、現在8年目を迎えています。

校区内には、地域の自慢が二つあります。世界遺産に登録されている「万田坑」と天才詩人と呼ばれた「海達公子さん」です。本校では総合的な学習の時間を中心に、地域学習を行っており、3年生が「海達公子さん」の学習、5年生が「万田坑」の学習を行っています。

3年生は、海達公子顕彰会の皆さんのご指導の下、詩碑巡りなどの調べ学習を行い、市民文化祭では、海達公子学習のまとめとして、詩と歌の発表を堂々とすることができました。6年生は、5年生での学習を基に、「万田坑子どもガイド」を実施しています。万田坑市民祭りや万田坑フェスタで多くの来場者に対して子どもガイドを行い、活躍ぶりがテレビでも紹介されました。今年度は、土曜授業を活用してクラス毎に子どもガイドを実施し、5年生がその姿を学び次年度の活動につなげています。お客さんの「ありがとう、がんばっていますね」「とても分かりやすかったよ」という声に励まされ、子どもたちが自信をつけ、確かな成長を遂げています。

今後も、郷土の財産を引き継ぎ、伝えていく活動をとおり、「自慢の万田っ子」を育てていきたいと考えています。



◀市民文化祭で、海達公子さんの詩と歌の発表を堂々とした3年生

「万田坑子どもガイド」で、訪れた人に万田坑の施設について説明する6年生



12/1 荒尾の小さな発明家、全国大会決勝
~荒尾少年少女発明クラブ、9年連続全国へ~

▶初の決勝進出を果たした、松尾さん、緒方君、石橋君(左から)。



全国少年少女チャレンジ創造コンテストに、県代表として荒尾少年少女発明クラブの松尾和紅さん(三中1年)、緒方優作君(一小6年)、石橋正教君(平井小5年)が出場。60チーム中上位20チームに選ばれ、初の快挙である決勝進出を果たしました。大会のテーマは、からくりパフォーマンスカー。パフォーマンスの内容や車の走行の正確さなどを競います。3人は「熊本の宝物」と題し、阿蘇山や熊本城など郷土の魅力を表した車台を製作して大会へ臨みました。

12/23 まちづくりの拠点施設が完成
~万田中央ふれあいハウスがオープン~

▶万田小6年生の児童2人も一緒にテープカットを行いました。



旧三小跡地に、コンテナを使用したまちづくりの拠点施設「万田中央ふれあいハウス」が完成し、オープニングセレモニーが行われました。今後は誰もが気軽に集まれる新たなにぎわいの施設として大いに活用される予定です。小学校の廃校などで地域住民同士のつながりの弱体化が懸念される中、世代間交流の活性化と安心・安全なまちづくりを推進する役割も期待されます。セレモニー終了後には、来場者全員に温かいだご汁が振る舞われました。

おもな内容	main contents
学校通信	2
まちの話題	3
消防出初式レポート	5
子育てのひろば	6
市民病院からのお知らせ	8
あらおのいきいき企業	9
平成31年度 申告のご案内	10
くらしの情報	13
試験・募集・イベント	17
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	21
図書館情報	22
文化センター情報	23
相談の窓口など	24
医療・あらおカレンダー	26

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎ 福祉課福祉係 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★
2月は「火災予防の月」

UD FONT by MORISAWA
広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。